億國民景仰のうちに昭和の聖春第十三年を迎 へさせられたのである。皇后陛下、 なほ進言してゐる、その銃後を辿る國民にとつて、最も恐懼。或激し奉るのは、 皇太后陛下、皇太子殿下をはじめ奉り、義宮、照宮、孝宮、順宮各殿下にも御機嫌よ 天資御英邁、 允文允武の「天皇陛下には、めでたくも寶算御三十八、國を舉げての く戰疑の新春を認がせられたと派る、北支に江南に、皇軍將士は硝煙のうちを今も 友那事變の最中に、畏くも玉體極めて御壯健、天機御麗はしくわたらせられ、一 られる、次がに御近狀の御一端を謹記して、御日常を拜察し奉る --聖上陛下の御精勵の御日常、御盧摯なるその御經歴の御態度であらせ



を迎ふるに勝り、脳内同胞と共に **獲罪の無窮を祈り、**

兵の辛苦、家鄕に悩士の武辺を祈 十半歳を継て確認の節に及んだ、 泉道の所旨を

り、同時に我か園民性に竣する國一平和の根礎を定むるを以て本訂と を借にすることが人類の理想であ 能ふべくは之を避けて関係の和調一て繰返さしむるが如き原因を披窓 る人々の心情を想うて毎頭特に感一に外なられことは今夏祭説の要を一 は関家の不良、人類の凶禍である 間の切なるを配ゆるのである 謂ふまてもなく 競び | 人子孫の時代に歩りても再び斯く 断著の筆に起った支那準質は今|あらず、我が隠滅却つて支那常年 見ない、即ち近き将来は勿論・計 し、国間 の如き災禍を東亞民族の後性に於 基いて一撃彼の反省を**促すの**趣旨 の自恣兇逆を加へしむるに及び、 國と似にアジア興隆の理想を同じ 政権と化し去つた今日、吾人は支

一部に於ける 直の政治的中心が低に

地奥一韓、軍闘多事の裡に新泰 | 大役の動機も自衛及び東亜会局の

である、道回事變も亦此の例外に 情に田でたことは史の明確する所 平和を推護すべき貸に已むなき事

風、國策であつて、日清 日露層 するのであつて、今次事態を聖職一 投存する限り、非要は勿消耗地を の隙間たる匪賊的騒擾勢力として 造成しつよる依然外力併類によ

> 3 じょう | | 本版 | 北方 | と歩ら、坊川を以「乙、谷」左がら之空は切論時長と配する所以祭つて此にあるを知「ず、我々同民としては彼の常義的「體つて前に削靴に再復するらららられ **重景を計ち斥げ、政治的に經済 南京をはじめ南北の主要都城に** あつて克く隘時到度に本來 此の天業恢弘の 西民族政府を容明せ

其の経費に似たるもの存在する。 介石政権は完全に消失せり、 南京の陥落によ の置す所として感謝に堪 の雰囲なる結束と、外景軍時 御技成の下、内に全域民

阿滕の新賀僧として赤

の関是、國策を中心として東亞に ぞは回腹殆ど添く帝國 [編を行ふ時に常り、我 貢献する所大なるを疑 べきであつて、誰し平一でつたことは洵に脅心がら世界文明の擁護に 如く我が帝國

とは、同に統治史上の瞬間的事息)其に赤臓を國家に排けつ使命と之を貫くの質力 の名質を示し来ったこ た半島民衆の生帝に編輯を譲るれつをなし、他面此の地位はまれつをなし、他面此の地位はまれつをない。他の此の地位はまれて一致が半島は多くの意味に於て一致都資用助關係の結成に到して ち日、獨、蒙、支に互る道義的は徐々重からざるを得ない、即して朝鮮の古むる原位と使命と 以て東洋安定の指導的立場を理各人共に日本國民たるの矜持を投選に属して使命を辱めざる様 である、顔内官民は宜しく此のざれば日まぬ機運を提供するの なる民族財和と平和の行機構及 新物學仁封

54、「「「「「「「「「「「」」」」と発情を親にするに除り物があってある。「施政二十七」「頭、事變の長期化と時間の練製を 戦勝の粂光に輝く年 解して志向を高遠にし以てアジ ・建設のために全幅の努力を傾

にして、関家の幸優たると同時に

副軸を将來するの所以

wの機光に使ってきもの。に所想を披迦する所以である(絵) 記は器より来だ完態を撰。に對して整悟を新にするに除り特 では、現で感慨に描っさい。 たるに外ならず、施政の間に在した。 たるに外ならず、施政の間に在した。 たるに外ならず、施政の間に在した。 たるに外ならず、施政の間に在した。 たるに外ならず、施政の間に在した。 ずして改強しました忠裁愛肉の「 特別は内鮮一般を以てする阿氏」 特別は内鮮一般を以てする阿氏」 つて居る

中中中中中中中中中町 恰ふに 此の傾向、此の

るものであります、殊に野美と帰額とを立道して教の題勢は、属二我が國

相擁し以て、武運の長久を祈願して止惑の萬歳を祝ひ率ると共に、一億同胞

億同胞

そ正義の何であり、楽戰の何であるか

さるにしても、

斯の如き宏遠雄大な

政務

監

野

す、時局に際し、我が図して居つた様であると思して居つた様であると思

5名と問題であるとの意の精神力、意思力によつ 特局それは日本国民の

以て聖戦の戦果を完態ならしむる

先般獨 逸の成人は、日

皇國臣民ノ誓詞

生業帯國一貫の精進を以て、中戰

ざるところのものである。世界は今こ

に大義を貫通する理戦は、

未だ皆て見

つて党醒の眼を開くであらう。ばならぬ。而して世界は初めて

而して世界は初めて之によ

断の如く文字通りに、人類平和のため

臣民は、均しく九重の天を拜し、 **戦勝に輝く歡喜の春を迎へ、我等皇**

山村耕花畵伯筆

東洋平和の榮光そのものであつて、

味するものである。即ちれ等は新支那

の重大性愈よ加はるとはこのことを意

ねばならぬ。從つて順戰終結の目も亦 は遺憾ながらその日の甚だ遠きを思は を認識すべき時である。然し乍ら事實

いとを覺悟しなければならぬ。時局

の育成を扶けて昌祭幸福に浴せしむる

胞年頭の所懷、此の他に何ものもない、達成に漁進しなければならぬ。 一億同達成に漁進しなければならぬ。 一億同

第一所は國際信勢及び東亞の批事 不動の共催の上に保障すべきの味

度を顕揚し、其の赫々たる職果の

字古の戦史に一大光芒を放つて國一紀、今こそ此の國是の目標とする

所に野達して、東亜民族の政等

殿の下に

でありまして、吾人図民は此の

マス 私共へ忍苦鍛錬ジテ立派ナ温イ園民 私共へ心ヲ合セテ天島回下ニ忠戦ヲ私共へ大日本帝國ノ臣民デアリマス

トナーミ

日北陸海に互る殿間に於て示され

て東洋平和推護の便命に任じ、 が帝國が、明治大帝の聖謨に基い るを信ずるのであります、卽ち

ご許多の機性を排び来って料半世

した泉軍の彫倒的勝利は、世界 日支間の戦事頻發以来

の光榮を有するものである。我等は深 **關かり、我等の子孫も亦これ**に 思へ。この偉業は我等の祖先も亦之に の貫織を期する我等阜國臣民の幸福を る使命を擦ひ、限りなき 皇恩に浴しつ

關かる

5卦に、島軍の研設したる体影を 発き人の 犠牲は必ず中国是 送行 、悲しく。真室の顕常を誇ざ奉る。りまして、事模に持いれつとある

の成果によって硼ひられるものな

らのであつて、

人類に歴史あつて以來

葬の何であるかを如實に天下に示され

土を願現することによつて、典職の とせ、に、東洋の平和を確立して皇道樂

後を使嗾する悪魔の退散をも暗示する **じある。支那膺懲の戰は、實にその背 品細亞に昌榮と幸福とを豫言するもの** さし昇る昭和十三年の旭日は、實に

ヲ固クセン||、我等息図匠にへ互ニ信製協力シ以テ開始 一、我等へ県國伊民ナリ忠殿以テ君國ニ報ゼ 近ラ電揚セン

扱ジ

古書で納地で、 静原門は田神遊、夏を命本也、鬼図の詩座を向異例

を鳴けると相交き 早朝より夜、

一年後には、御親い神前に今天に下

た。探後に重原を召されて御下間一せ給はず、過くる十月の神県祭の

ける風吹、水がから一を押して恵男を救しつくある。これでの漢語、手へ持い進げて旅日のみはり、幸養して

力中華民國公民省全保し連に京照 | 毎日を以て配した所に附及機器は

え動語を騙はり、また「昨代十二

では

-との御意味の知異例に一度は種園以来にいている数子でに、

こ独創が辿りました。文献邦演出

|主つて、國大学三十 | 己に治外法権。

「松野して清風」制度な整備し、

下和を確定せんとするもつに外

信日日与月日〇、つ、丁

は機かせられてゐるのである り献かせられてゐた のため、御籍に前上

)軍務政務に御精勵の御日常

の御多編、御多代に玉體に御陸り|野務されるであらら、御夕食前後、 者はいづれる。降下御時念の御祭] テニス、御愛好の御姫思さへも全 **北解、宇堰内間の流電、採内間の「共に、東軍将士の破獄における道** めらせられてはと、悲景する程で であつた、そしてまた海軍汚、御政を極みで、この一事をもつてしても は箕に一再ならずあつた、 た多事多端であつた へは昭和十二年もま 際での御日常 が備しるの 側近。後行はせられた御運動、ゴルフ、 御呼び寄せの照宮様著宮様方と 体端の正むなきにいたり、毎日午 く御中止の有様と称するだに長き 軍事第一行政法等の御遊訓は **脊非御暇あらせられないために御** 御日隅の御界間、県国会、憲法、 陛下のゆ今における御を忙さか

を探して、たけん

思

時議會、材内間の短金な瓦解、近一局能下を仰たづねに行幸の御事も ふいとまも理せられず、大いで臨一つくさせらるべく大官師所に泉太嬰に一醒下には、影振を安んじ祭。はされるのがせいぜいで御歌養を での政情は、あまつさへ。 売下の | ………… 成立と、めまぐるしく原態の様政・戦の容子をニュース映画で御門遊 あまつさへ、卵下の 一つくさせらるべく大宮御所に息太

目を通され下続官吏の異なら叙任 るとある。 前令に至るまで、御間間遊げされ 職。紙水橋日の横幅院定例本会議 郷丹皆をいとはせられず、一々親 同にわたる御正裝。御通常機装の を詳細印稿版、御がが遊ばされ、 市が明治に支外、 つた、また白縢三便巡 陸海軍 方図的心御政務に屬する内閣上 軍令に属する神統師事項を一 大小質 一於丁七、面熱 今大事製

せられ、鉄道の赤臓こめた民草の、 た配雅な御僕も、御珠館通り行は せられた敗島の道の御機能をかね 大帝が巨隣職役中とい 行はせられ、明治三十八年 明治 さるでき御恒例の卸散合始の僕を(研発・動題)神苑朝』を御技術

こる御多代中も、宮

|夢苦神動盤に御田植||陝荘年大巻||月十二日には、世界戦処にも七八| れたが、事態重大を思行されて一 の崩勇士 年世の生 はじめ各種関校の李楽式に行幸 絡水, 即東月 事 『社会施設への事業神楽一 掘山の様がしまっまっ 東北海町、水住り、 聖上、弘后明陛下には に至るまで、夫々大事 に男子の脚門には 化簡單排侵者下神景語 の御御休あり、四日 上を思召されて河仁徳 1御鮒蟹中であらせた

子綿立には、前標なほ郷遅左を記出地を住向されれ、東洋長久の和

はねばならない。彼是月順我して

して原機能能のもつがありますっ

この方面の陸飛軍将兵に対しその

を蒙むるの方針は、自し衛洲國に

於て第一般の管現を見たものと謂

金二たまは世られ、常に、中軍符

上の上に実御心を皆立られてある。此度の事類が半島は脳」正義建築

全促し、内野一糖小園民的結果有

共永る

|周江南各地で戦闘に大捷を収めた||相提携して東京永遠の下和の基礎

し、国共市日には不確を認った上 イる職果をお言めた社交事軍 (m)

て居る。許し我が国星たる日前支 一座京を充作して経済的消襲を示

めといふ御有様であらせられた 今 選に際し、良くも日本 を計るべく風夜劇念は 安那と相似力して単世 統門は遠に、神取り山 等れたが、十一月三年 う宮中御他所にて、例 ては、さきの第七十 これる御独定であった 仁酷しい経現を吹くも 国の支那事製につい

ころであつたが、中催民 赤子は低限に堪へない吹笛でもる 愈よ御うるはしきを押して一節 陛下には宮中表御座所たる大本谷 長首、信見軍会部隊及官喇最下、陸 しせられてゐると承ったと、兵機 正常大臣らの著内上を物数を来し され、その御特職の便は観し高ま 一田御遊ばされたまく釈史にいた 化を構めてせられて、開院参問題 松下の御身邊は愈よ政務服務師予 こまで、御総解事項の海絡で強は -|-後定されて五年は 一月仁君子、大水斧 一里が信勢の難してと極速し針し 「りまして、戦時・有戦後に町り里 異打さるべき時期を置べたのでも 、帰れしめましたことは天命の偶然 ならざる所はでもります。テや此 上に於て半島の施政に服々得かに 心練一無様なる心核合致心器地の

能監的機光之如下 所謂於三排海 |洵に 食心のことと 申さねばなれ 一かってに至った手島山箕橋に踏み カー教・此の希望に輝いたなる原 関、東ることを確認 母ころよの が開落として八次行及交員機関の ませぬ 特に同時用者、殿遠、と 非常に重要払っを売なる地位に確 政能の内容は京門、別三春間を 代に出せられたことを最高数字の 勝日本國民の自発と語とを以て断 でありまして、中島同範諸者が職 事變は無罪が終った

完からしめわばならぬ。た阿氏瀧磯により更に内鮮一體の民的艦隊を整へて「聖」で、権逆民劇の間に品積され来つ 「のみ其の質現を促し得るのであっ の波瀾通延に備ふべき聲信をも保の将來を想ふ時巨厳として次 力と全き観測とを完備しなけれ、現代にも顕成し得く環境なる症にも顕成し得く環境なる症にも騒化して、単態の如何なる 聊か所
紫を造ている な方をせ した名精東奉云の信念を此の上人國民は過去学成二年)で練成 これが人のか

近しつく、 猟々変を 塚

ぜんとする二、三列國

しての意気を同じうするに使って

买

朝鮮神宮

歲旦祭 (1月)朝編を破 新春の諸祭

つて昭和十三年の初日が南山頂上 式によって執行される || 議旦祭が前夜来会 || 高野した|||知 和宮可以下神職を伝のもとに中祭 に野惑身る一月一日午前九時より

殿の三段を始め、伊勢神宮、全祭で、宮中の登所、中疆域、神聖命の祭育、阿進の経肖と解る れるのであ この祭は新 年の佳 日を配し、 以下神社で作物が

代、文武官総代、各道々民總代、朝鮮神宮では總督以下創鮮計族協 一府民總代其他官民多数の参列があ ば酷でも参列が許されることにな 羽織様 婦人は自然数件以上だれ るほずで、モーニング、又は紋付

ある。朝鮮神宮では歳具祭所概律 には年前十時上り元始県が執行さ の元始を現し、野本反射の鍵を探 れる。この祭典に萬世一系の泉位 督以下各官部代表官民多數祭列の 元始祭 (三百) [月][日 げるによってこの名牌があるハモ

め本年は特に採収者側に引用過程 所を設ける り朝鮮神宮ではこれ等の人々のた 本日朝刊十六頁

息居を選邦する人々の便宜をはか

遙拜所設置 元星上於了

||宮內省御貸下||

新春を迎へます大内山

方採の即儀を行いせられる。 師に選ぶて和やかな売且 丁三春・釈迦三大内山明三七の三七〇連へた 天魚陛下には未明四 関の随間、特に東重し和平成 既を中選科、賢非の中で、

「御後弱々しき 天皇陛下に 世宗神秘の御東僧を召され 遊ばすと承るは恐懼に至りで 服と真罪の武選長久を即動だ

次いで午前五時四十分賢所、

御客を輝かせられて古様床し石巷、午前八時級風間に出御 且祭の御儀を行はせられる、息異は、神殿にも師説拝、御 かくて、陛下には神正装に抑 で展留陛下、皇子様方と母者で帰母時の神様あり、大寒に 差にごを御覗り造げされ、 整を召言れ墨智院から近ばれ

た公益御裏を捧持して源る間 奥、御恵とひ目山後く所存む 種態な呼吸用、島后陸下には 時 天皇陛下には御正装に各 詩かせられるが、更に宇宙す れ、午後一時半三度出御、 出御諸島の葬式を受けさせら れる。午前十一時再び正設に 民観官等の拜りを受けるせら 現詞を受けさせられ、

白縄大便パツソムピエール男 の拜取のり、めでたかりちにを始め各國大公使、阿夫人等

即遊れ、次いて畝台山陰、多分を正こせ給ひて伊勢神宮を 関にのかに知らぐなかに、御野所神器段、南庭に出海、間

上海西部占領地域への

復闘を許可す

上後国の万重に長(く第三級人と雖も同様なり、右に「「复覧」こってしい。 に三十二年我は、「公布し外れる者書に集る場話すべ、成なり、 第一次方では「斜行為」尉する犯罪は、漢く提挙「保険に努力すべきは首を俟たら

復興にいそしむ 「上海廿一日可盟」上海の五口、場

一時後の一時後に

早見屋敷映ゆるケ前五時牛

国世界から城る省物をもつて帰宅 兵隊から機論した許可様を手に共 三十一日朝來外支人社我の意

だってきている後の。 「「「「「「「「「「「」」」」」「「「「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「」」 「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「」」「「」」」「「」」」「」 炎々天を焦す

青島我權益破壞の猛火

南總督元旦試筆

力而より重ひまったれた「航空業庫」「影響域は引載」「続変北方士」「野も自動にあり、豪安を襲撃は目」解決させるものと自せつれる。「代告市計算同盟」。直見南岸及路南「路南南方と県の岡山を高温せる場」あり、山泉の軍事の要加索安の政「農産に満足すると言っと言事件

攻略も目睫の間

泰安北方十里に迫る

一年度別群総督府特別會計

たどに及ぶものと見られてゐる。協領革命「層留民會、郡校、精経 取扱貨幣兩替高京城驛出張の鮮銀

が加売販競兵の潜入を最重に贅戒 留り同時に徴異地馬の治安を闘すす名を退西に配置し、安民宣議に 脳西を通じ岡方面の外支人は限し 者々として復興にいそしんでゐる この指揮下にある支那人警官百数 景像では三十一日から意長及び いわが家で新春を迎へ、いづれも **しつゝあるが、之ご虹ロー 梧樹湖 | 北部,中部隊小器枝は旣に授業を | 腕立七部校は新春と共に全部毘校 |** 新寿全部開校 上海邦人學校 $\frac{1}{1}$ が、日露戦争に於て日本は竜 (東亜的存在として登場した 島底と皇皇に匈奴衆を辞る奉氏語者と共に謹んて、聖師の ゆる 維新當時に於て日本は にとりて京義東大なる年では鮮明年に當時にも指して日 光、新年の初頭に寄り、図 内に於いて、高等女郎校は北部小 取り間始したが商業県校は中部小郎校 すること 內閣總理大臣公爵 近衞文 麼 のである。本年が如何なる歴 で来る日本の重点に連続でるの文化といる諸国際に関係し 織の一方の支柱たらしめんと東重をして、世界の平和的組 以て東亜の進歩と安定に年間 交船を本来の支船に改造し、 本の安全保障の途にない位に たる主張と與へ折かる安定的

利の前には、なに概多の段階

船に関して起つた災弱は、日南京路路の歴英米神國の賦

國がこの先支那が共産系的基

選となつてゐるのである! 列

Aある。 光紫ある最後の腰

は最大なる状態と重脳が来りを答まれが、保守的概管から ては世界の道井的関系は共鳴 る? 今日の日本の宝猫に對し

為に、更に有機的に動員する 関比の金帳館を関系的目的の 要とする。そのためには、全

れは巨大なる魔力の壁備を必

本来の支那が課動して成長了

る重盛を排除すれば、そこに を封殺し、彼等の民衆に對す

ことが必要である 過去生態

十分の同情と支持を含まれて、日本はれる政権に到しては、日本は

治家をして久しい間の自殺的

斯かる一方的にして且つ非建 は全然見當外れであつ

設的な職論こそ支那の排日政

下に、東亜の大局を提へて生

にはないのである。緒し如何ものは、現代の日本國民以外

の麻殺を作り、且つ完成する

前進のなった、斯の高 に突破するためには、 際的機関を出来ることで

等いいはゆる長州記日の根源

廣東郊外を爆撃 ケ月ぶりに

非常時内閣の總師近衛首

羅々たる爆音は天地を雪撼

(作分層質関聯立原税を解決情報)記録は三十日年前入時十五分身践[web、更に同元時生版八級財本典] 一時五十五分我高級Cの家は一ケー「上海三十一日同盟」上海の復興。 【香梅三十日同盟】我か派弟前第【級推出、臨功、夢洋耳、彼有を偽「連瑣財命に娑潔を長下したいで十二年

本府十三年度豫算 重なる新規事項



デイバード號事件

| 一個時軍事學特別会計へ挿入

後田「天」第)三・北・一・北元・国発生文は三十日午後一時イギリ・同答に再会に誇布中のチェムバレ・成人・五九年、『『七』(『中』)「「撃」 事件に勝する 帝國政府の 未だ何等の発見を述べてみない、「成別 「雪」は、「東」」「「撃」 事件に勝する 帝國政府の 未だ何等の発見を述べてみない、「最終的本の如し。『『神経』 結局無事解決せん

【ロンドン三十日同盟】レディパース外務省より公表されたが質問け一ン首相、 決定迄には尚時日を要すべく、 技術をなした上日子政府のとつた 結局との職につき何望か公式種具

を一層整備せればなられ 職を正職にして、特久の職勢職信を開め、環境に對する認

江の東地に分散逃逃し甘んじ 南京脳路後の國民政府は長、つて日本政府本來の意思を即 分つ責任を感じてゐる所であ る。儲國も亦、此の事件によ 本間民の難しく遺憾とすると

は前進のみ

本にあるもの

を原係しな日本としてに経営がある。 競後まで後輩の反省 かない。一時は底介でも、 でもあるが、いつまでも支承 、民の幸福と彼等の個見の が世界の一部に拷行して 極めて遺憾とする所である。 解するが知ぎことなからんこ 問題とて、日安問題し本質 此の突破事件とな法別関の

といふ傷見これである。 これ 即ち日支間題の解決は支那を 洋の安定は極めて簡単に指数 航空的な心眼光に非すんば、 刀作あた態度の十分の一でも 立つてゐる。公平にして且つ 、展現でも相互的顕聯の上に

れば、列國は能來と異りたる 今日の世界不安はその様つ

と答へる。唯七の平和の地様 本は世界と東洋の平和を記 近年であらる 日本に何か 賀 JE

都騒がの赤軍に本質に覆るべき

们處にも

× もるのだ がブリユツヘル元誠に結婚され、は勿論格ゆる関内機構を助員しつ 文程総された接張報別能の三十萬

火の二朝が内部に対されてある「魔事院」は、知さ成魔者で、流行という、現在に関節的は、正成、王に兵一師、野武院二郎、とおいて、現在に関助的はある。「武、王に兵一師、野武院二郎、ソ忠司は接縁の関と得されるだ。 非兵士には、郡兵四郎、関立部兵とは北部は兵縁の関と得されるだ。

柳一千二百遊殿道一千一百卷、裝

ソ聯邦の最も自負するものに赤

時数千萬の天軍を作り、散、量者々として軍備に努めるのは職を受けるといふのである。かく

記念日閲技会等には此等の後、せられて居り、入除、除除或劇器、某所店と云ふやりに徒

に映略展開を行ってる。 ポギ短以前には僅かに尹兵四側的図されてあるのである。 してゐるがこの様事業の如きも諸語といてみを載せられる。 潜水艦・十条髪を輸し規範すととは、

に過ぎたかつたことを見へば思ひ

が経時した次の言葉はソ聯告軍の |されたを明邦ソヴェート大会に

んご赤空軍交長ヴィ・フリーピン 空軍である、一九三六年の基督集 来平時態製から最時態製へと軍隊 | 更らに極東には一九二九年以來列 | 荷水井町 - 財験職立、水守戦六 | 軍とに二大別されてあるが、

10、協議格等刊、展出提三〇年務

網には各管販売取司令官の指揮下

用せる音下車降下部隊の開機も目 之に加ふるに近來兵員輸送機を利 んにお5-19壁の如きは四百万年 型紙研修、更にイー61な、17な、 笛してふるイー6、5、9、

当首析を終る快速戦闘機である。

5型、11型、更らに時速三下杯

三千五百機

兵隊だらけ

そして之が現有兵力はどうで

た毎月を要する上に兵士も総役国 下に動員して置くためには、英大

かくの如うを兵力を俄職時態勢

向けて築かれてゐる。

極東には

兵力三十萬

開始場に飲

丁七萬の流軍退行兵が

められることになる、戦みに長近

方向からチタに亙る三方面から、原館は地方、流池里と相封する 要提问、朝鮮関撻、さらに北部これ等の軍隊は大體ウラジオ、

のソ聯の國際競雑を見るに、一九 民も異常に苦悩と愉快を積度せし

「十五、大俊苗の程度だつたのが 三四年頃まではせいせい十三個な

東田され近に三五年に八十二般 一九三四年を蜿蜒に一躍五十億留

の前衛軍隊

脚板されてゐる、トロッキーは連 革命の前宿をつとめ世界を命の 後するのみではなく、連んで世 元來ソ聯邦の軍備はその國土を

のに經濟戦、武力吸を以つてし、 単備を整へることに最善の努力を の国を凌仰せんとし、世界整盟 この三歳の弱引な職行によって世 一般による世界革命を輩したので 一致行、加工報に於て後見第一 ・リンが脚つで第一次五ケ年計畫

觸即戰

の準戦態勢

日産税役の際には党城が布告さ

開卵の一致は北支那翅の鍋楮 のたが、果然、薩所権に於ける 器し歩る 民族を言配さ、追成の強策を の新春を迎へ護みて理器の

ある。從つて平時から関係は十分 送では頭頭急張に間にあばねので ち、従来の如う助員に多敗の日月敢な機能に遂行するものであるか いざ開順とたれば即日関係で鉄碗の に敵国の重要和中上に関係して果 戦が交へられ飛行機は其の戦の中 は粉三ヶ月の蘇鉛があつた際 汽車 汽船による道路が

れ、旅祭を騙つて漁撃を殺け

て塩まない。併し多年、元り

現状無持國と現状打破國の針

る観載であり、 鱼図日本が四 ッショ同盟云々の批評は單な 協定せるに止まる、所謂ファ

内に混るく力の接現であり、

るの特権動衆を連かに答望し歴に構えず、国際りて地震ま 和、東重民族の脳響の含め阿果して然りとすれば、東洋平

である

を取め得る所以を詳知すべき 時は関より、競技の勝利に花 總動員し、脚つて兜の緒を締 凡ゆる有形無形の國力民力を

たのである、関より防我以外

部で時代の斡換期に常りては 解消し、民心は第一して関係

監悟あらば、支那事變の解決 此の歴史的創造の聖器に残ず

の結合を加致に示しついある

典に折かる疑念は一瞬にして れた事がある。事型の朝険と ずしも監測なられを担義せら

に對し、三城間の共同防衛を

戦は一段と緊密業間ならしめ 得て、東京、伯林、羅馬の福を結び、新に伊太利の参加を

殿徒の騒呼に明くる昭和戊

、一艘即菱の危機を開へて東距の風質に倒に急迫を告

是故命を實現しようと云ふ魂殿で

支那のみならず可聞をも難し

年頭所

◆……字垣一成大将

勇と総後の熱切なる支援と信

感激をもつて殉ぜん

勇能激起せる新兵は合地に連 企義は指くて姚平郎然たり、

題る遺憾とするのが きる、揺目抗日を以て自家政せめぐに解版の極みと得ずべ日支韓國民に取り、兄弟者に 榧の強化を関り、以英制歩を

無上の感慨として四民の心性 窓を仰照示あらせれらたるは

となり、遠からず和平解決のて、帝國の武嶽に次第に分明

列回また事態の認識を新にし 支那側も腹膜の事質を認め、 配でなければならない、今や 類も亦世界に比類を見ざる路 らしむる所とはいへ城土に忠 を示した。個へに御殿茂の然 悉く個代せざる者なしの気能 く階異せしめ、魚軍の武威に

は既に獨逸との間に閉典協定 大性を加ふるに至った。帝國数は、遡然として被理性と孤

> 相剋を云偽せられ、 し、一時に守精能と革新館の

が、既じて選集登巡を斥け、常の苦境に降る場合もあらう

寅年にちなるて猛虎一撃山月

迫あり、挑踏あり、時には異 前途の磐根鉱節は発れず、

たる泉図一致遺憾を現化すべ き段階であらればたらない。

を駆破せんには、一層の野蛇彼の家語せる長期抵抗の作職 是からが即ち第三期職であり に第二期職の終結であった。

機る両者の懸擦は直ちに支那

設するの発悟を必要とする

日支間に和製提撚の樂土を建

支那事製の描き出す関係的温を観る興者の軋轢たり、益に

国際の斯かる情勢も自ら反映更に國内に眼を聴すれば、

抗争して診断を競はんとして

列詞との親交を求むるも子が

と支援に恃まず、一日も早く 主的に解決してこえな歌あり 洋の問題は、東洋の民族が自 克服に迅速すべきである。東 の努力を傾倒して只管時間の

ある。しかも

断風

版は

市断よ せんとする例家群とは事毎に

希望ありとも消息せられる、

を異形とも長く、皆くに感程に受しとも長く、皆くに感 させ給び、天津恢弘の母の神 御説動を採するに、知底の

国軍が整領江の存職で戦闘を開始 見城市皆役南軍城火を交へるまで したのは四月末であつたのだから れたのは二月十日であつたが、

程事つたものであるが、遠にス 所謂一個所分主義恩建設を呼んで 極世界を命を勝へ、スターリンは

の歴史的聖業に

る大量でかかるところから赤軍は 真のゲ・ベ・ウを含めれば現在百

であるとこへ云はれるのである。「微水畷五〇、風辺蔵五、高辺蔵五、高辺蔵五一赤空軍は大韓國立空第と飛力的空ル数の特徳派といよりは大戦率」るが、大韓ソ税海軍の現者勢力は「個鞭は干数百糎と云はれてらる。

異的に脱増した軍事職算が公表で は内称人民委員部に属する二十数 れてゐる。しかして常備兵の如き

完姫を期して居り、この外太平洋 海軍派には黒船正職隊が大将軍職

八十萬人を突破するとさく云はれ一五、小親を置10、野間間10. 留、三六年に百四十八億留、そし 昨三七年には二百一般と質に関 一方ソ聯の海軍はどうかと云ふ

海と黒海に主力を備へ太平岸海軍一概、一寸かけ他をすれば七千極位

水上機母艦一を持つて活動してる。世しめて居り、孫東三州方面の配 はあるかも知れない。之が主力は

四は洞逸の兩國を充分向ふに題せ モスコー近邊に置き、東は日本、

スターリン氏とヴオロシロフ氏

色空址は少く見積つても三千九百 この議論から判職して見ても赤 で看し関連が、七萬の 前に

は我國同鄉機兵制度で、入侵する 面合や見事に来る人々も残と役目 誠に淋しいものである、又軍隊に 地が腐く迫方から入着するからで の人以外はない有郷である。兵隊 ことは崇荷なる姿勢であり、プロ 田迎へに來る温い光景は見られず や友人が賑やかに見縁ると云ふ郡 もなく、除隊の際も日本の如く、 もあららが入骨に當つて身内の者

一族、言蔵、僧侶等の子弟及びコサワ れてゐて、最近まで帝継時代の費 レタリアートの名響なる特権とさ クなど儿で兵役に行ける概にして

する結果、英米佛等の「持てたざる関」として獨伊と吻合 る同じに不測の針立既を取象 しては他迄も自頭領往 東盟 せしめたに過ぎない、帝國と 例へばこの飛線には某工地で某一佐の膀胱を興へられて心た、ソ眼フ』と云ふ後便剛體があつて、「古人を指し書館であれる」と言いる。 と云ふ茂極層視があって、 | 主人と同じ意識の改治部に取りとられてはそれぞれ「シエ」少別の處さんは二十三級の者とで く、関連の登録に関する事件には受礼離さ現象と言ひ得べ 來の数に立ち還れるに過ぎた

使りて、溶々と完成の域に近 世界の親りも続序も赤、八数東洋の観明は茲に初めて助れ に生を享くる吾人國民の手に 洋歴史の一大韓換期であり、 づかんとしつ よある。 正に果 来竹有の歴史的体素も、聖代

に於ける唯一の安定勢力たる

名婦人がパソの爲に大事に身につ 山な首師や銀金器、器物を全く主 **添無いと思ふっ数年前にはトルグ** ソで他店では買ふ権利のない 代から所有してゐた発指輪、 いパンやパタの如き食料品や上 で之を以て他店では全然状め得 人る巧妙なる手段によって帝政 の目方相應の切得が與へられる

京城南大門通二丁目

電話本局長四〇二番

京城府東四軒町三五否地ノニ

會株 社式

老

組

電話本局空二八三五谷

京城精內商

部 野 晶 子の離はしき御代 で、女の雌道工夫、女の技師長、

こくろの改まる

豆城府長谷川町百拾武番地ノ武拾

貸座敷業組

生

京城不動產業會社

部の演説を行ったりする。一方 | 陸上に作ま可靠なものかしました。 戦動感 | でソ聯邦を主を提起せしめた例の 一般上工作は何時終るのか見選も由 トハチエフスキー等八桁軍の修司 何に母密保持が徹底的に實行す

京城府南大門 通三ノ

既を | 來ぬ有様で、最近では外交官にも 能はさせられる脱版であるから総設に處せられたり、過個務例に 概スパイ、外関通課が反革命家 等職正工作の位玉に上つた者は大 トロッキストとの即名のもとに個 言語場不光分のものでも容骸なく 大公使、措施事は勿論

京城府京町十一番地

東亞工業株式會社

電話龍山長三五二番

關係があるたらうか。ソ聯邦は土

将軍就殺

/ 飛邦を暴けて風軽砂膜 | 同民五

理解し、順者の間に不可分な報告 っても果してソ聯邦阿民は軍隊を

かくの如く無理な筆作に製を行

見られぬ 入營の送迎

南ロジャを握行中、或町で関格 | ひて何處に落ちるかと恐怖におの で民心揺ぐ ひに信ぜす親子兄弟といへども心

取扱ふ人には弾山女がある。又私 衛生、化學職部隊に、文軍隊内では勝校にも女がある、特に政治部 行時校がどうと様子が望たので注 靴や服べ作理したり系器、器材 避してみると女であつれるソ軍に に行ったが隣に坐つてゐる若い飛 |に陥ってあるのではあるまいか 國防から 見た經濟力

次ぎにソ刑邦の編献力を関防し

給自足は可能であり、金保有高も い見地から考ふるに、大體現在自 **巡来関氏の市船を挟れるたけ校**り 父へるやうな機會に選返しても比 たいので結局根底ある職事は死 。程行政策を始める必要にそあれ ってゐるので、一度外國と戰火を 終帯を抽場なる解乏生活に追びや れ以上國民を殺る事は難底記ま

朝鮮郵船株式會社

世話本局(2) 長五三四〇番 二六二四番

堀井謄寫堂出張所

組合

物 商 組 京城帆道株式會社

法社人的 木建築業協會

龍 一作株 式會並

横濱火災海上際會社

二雄組

代表社員 內 新田 龍山一又

只城府岡崎町九二帝地 錢龍山精米所

雅龍|五〇九番

京城羅紗商組合

京城府北米倉町九拾譽三品

鮮滿拓殖株式會

同覧同同同理總事 事故 高渡岡木堤渡二

选 查 。 5 日 永

動邵馬通市子重流

田村

主人と同じ旅艇の政治部に戦め少し相當物に遠してゐる。しかし年ら がソ軍に隊付をしてるた時の事で

けてゐたであらう記念の指輪を加 指を見て全く阿徹を競じ得なか

一字の飲き集ひをもつて削り

一億ループルの公債を發行

特論するのは早計に過ぎると思います。

包話本局二〇三五番

京 城金

A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR

中央自動車株式會社 京城府南大門通五丁目一晋地(日華ビル内)

鄎

氣を緊張振作

時局に對處遺憾なき

を期し度いと念願し

警務局長 二橋 孝

朝鮮の地方公共列門

軍事後援 亞里の菲羅

京城府長谷川町九一

京 城

會

京城酒類卸商組合

京 城 府

師

會

秋田株式

株式

現

物

店

三菱鑛業株式會社

朝鮮製鍊株式會社

京城府黃金町一丁目一八〇晉埠

京畿道高等官食堂員

京城府本町二ノ八二

花

H

旭

電話本 局

盛文堂 電話本局四二六番 新 聞

朝鮮鰯油肥製造業 水產組 合聯

京城府光熙町一丁目一八七 H

本 一 五

七八番

合組融金鮮朝

會 合 聯

朝鮮金融組合聯合會 京畿道內各金融組合

會長 矢 鍋

京

城

ÉIJ

刷

業

組

合

水 郞

京城府長谷川町四拾五番地

京 城 出 張 所櫻麥酒販賣株式會社

齋山本河

秀節

藤根田野 治譓夫夫

山本源作

商 店

3

石橋を叩く

京城の夜の街を彩る本物番| 人の光豆をほじめ百々文、一十九| 阪宗衛町大和肚で一葉

當り年の名妓美妓

次にある子耶に世野沙の名手、

吉夏重喜氏

简并竹雄氏

四つに組み、独英構成の大角

の年男を展業して見よう猛虎の勢ひで「非常時半島」を征服する官界猛虎の勢ひで「非常時半島」を征服する官界統治に一段の心臓さを植ゑつけてゐるが、昭和十三春に明朗と冷刺をよち撒き、半島

存し大きい、好談の個別を見む

鑑半島の悅ちやん 東京大會目ざす鶴谷美江さん

木材商

土田

商

とらの土俗 虎の夫婦仲と

次

テ

授して下さ | 機ぶたお店の耳那点

本町署長 黑澤猪

可能の概念。 でも解析は一位上海に、一位北文に、甲権の がの中心地本 ◆・・・・・カッテ()と終っ古武士然 つとめる風観。は一位上海に、一位北文に、甲権

山脇五三郎氏

曜

會

嶋

次

ĪĶ

勘治 同 群 作明 市

中音 史 三〇五〇番 日 三〇五〇番 日 三〇五〇番 日 三〇五〇番 日 三〇五〇番 日 三〇五〇番

小野二

田

黄 鶴

律

國際運輸株式會社

淸 津 支 店

成北自動車" 會社

公式會址

船

會

成北富寧縣前

大村商 姜

J.

衡

咸鏡北道輸出鹽魚 成鏡北 道機船巾着網

漁業水產 水 產組合 **農水產**

媩

維制車所

鶴

Rij

λi

朝鮮第一直機船底曳網

便

局

清津材木商組

合

EK 田貞次郎

胡鄉追家株式會出

 \mathbb{H}

弘津鉞之輔 お話[七]の番

県集市福

清津青果市場饌

海洋漁港工友會

金基德 電話店店店

電話二七番 製材所 茂山 聯江 岸 梯 内電話(2)三三六三番

冴える劍劇

本百貨店 電話二三三番 電話二三三番 開生町

太阪瓦町

カ やけど・ひび・しもやけっ きりきづ・つききづ

Щ

田安民藥房

原因

-から治療する

今津博士の新療法完成

自なまつ

おれ選挙が背方質欄にて至急お送りた関省名整備にて収費せるも品切

「〇・8 六晉入六円の [極

ノエケルズルフオン酸にして他の「ネオタウリン」は化単组成アミ

対は、
 は、
 は

本 超替口 単大等三九・五〇 新本 超替口 単大等三九・五〇 新木 超替口 単大等三九・五〇 新木 超替口 単大等三九・五〇 新木 超替 ロ 単大等 一元 一級 度 元

ぜん息・神經痛や不満

風高血壓

快となり末期の一クールは著しく 短く十二回を以って最好適度と十

其他皿の機宜をしても分らない名の原因は開催、総載、附帯(債再

一時得への對征提供は際心改しま

此つ海風に難いから組み止め、シーり難いのであります。

結核治療の代表的注射薬!

雲がなければ雨は降らぬ

クラブのホルモン美容

一冊され、自然……肌アレも中のとって出来た瞬とかタルーとかいく、一つて出来た瞬とかタルーとかいく、一つで開発の過程もほ良となるためと たがって、皮膚の転像代謝になるのであります。

(J

つま

でも…

にひたして、肌表面を試つていた。まづ最初にクラブ乳液を脱脂部 大正さんにも買けるたなれま クサーチーは十二回位)よっ たったことにお買けるたなれま クサーチーは十二回位)よっ にっったことにお買けるたなれま クサーチーは十二回位)よっ

電信ラブ電音タリーム、アルば一倍に云はれます。正しい表化紙は「40cmになりラブ電音タリーム、中間に扱いが立ち「化量アレ、自初ヤケと芸を指は「40cmにれます。正しい表化紙は「40cmに対します。」 クラブの健康化粧とは?

「聞きれ、自然……肌アレるはね」
「聞きれ、自然……肌アレるはね」
「聞きれ、自然……肌アレるはね」
「聞きれ、自然……肌アレるはね」
「聞きれ、自然……肌アレるはね」
「聞きれ、自然……肌アレるはね」 日頭から畑へかけて、少し力を入くりとした畑内なります。 へたがら図の方向にマッサーデし、おんがら図の方向にマッサーデしたがら図の方向に、指先で軽くおさ のまけ間のまん中から左右にマッ

精力減退

◆糖尿病はインシュリン注射の

時間を守るよい日本人 になつて下さい

ンセ八十•テタ ンセ三十•コヨ

バ ラ シ 1

(臨 株質験報告集郵呈)て一般発展製剤の質化非子 操作により消化管内にて破壊デアベトンの有效成分は特殊 **利度元 鎌沢日本 薬品学行** 大阪市東堤伏見町三丁目)口を含めり 共に多量のヴィタミントンはインシュリン様 ・イタミンB及びC

が はお月にかけます)との病気でおし、 はず、今スグハガキで、 大阪昭布し はず、今スグハガキで、 大阪昭布し はず、今スグハガキで、 大阪昭布 運價は 旣に 定評あり 特効薬 胃腐カタル

ら、比様出版や弁線館に指荷する。からと思うて収憶して治で、好く版たり跳から出するのでありますか。中になっておたり、大して郷まぬたり上て、那段をつくった所から、根を切らずに称み止めばかうに都たりして、 こり、こ、頭吹とつくっと所から、根とかって一張を出めませた。 型へで凝いてほります。全層の場合、指標の抵抗力が破退し、それが原、から人、と係、られて探えって行、電火間上や、関連部と観視する質めに、助告、 る二頭が突が現れるので自然に人 などのにおれて探えって行い、関との動物者繋がは世議、がら人、と係、られて探えって行い、電火間上や、随道版車を握の額で、天空を含えたり、打つたり、使漢ぎ つたのであります。 の質脳再発は、電波を回れているの動物者繋がは世議、が作品とよって、東と加みといる。 の質脳再発は、電波を認いてほります。 全層の間名にお願して しますと比当気。血の中に含まれた程繁や老敵物を注は無心なしま。今日の如く有名になりましたのは 強するほかりでなく酸方風物の止小便と共に取り去つて原因から治 常院の漢方排揮繁複法がよく效き 排毒素漢方自宅療法のお知らせ 原因があるから起るのです 1 との國家非常時に際して寸時も早く合催して大いに活動せればなら に合つたよい療法で治療して関係

抗毒力を旺搬にせたければ中々治」りますから、一時も早くこの邪態。 能や悪熱毒素を部化し、肺液中に、つつかれて具着になる歌も彼々あ 原因の、ಉ緩中に含まれた横南紫」と、だん(~コヂれて選に収退し

シノシ痛み、骨高くまが、落腹せず、悲観せず風暖な苦む、かんせつ炎にてフーチを程ではあるが決して ハレル、ウミ溜る、セキ|顔園なる事、永引くここ の良薬を發見しました。

四石市相生可光都投所前 長壽圓本

る、赤くほてる、此の病 の人はかれこれ迷っここ

御知らせ致します 今回良質を頼見し聞く情様に此の

飲み過ぎ

ポケット図日時計どこにもない 他の六人は

が買いる

すぐ時間がわかる。

一ノ分四の物質

貰 へる ナビち はミン 申込 者 込める ても申 いくら ダリコの引換證3枚で の時計がもらへる! サア ミンナで 引換證を送らう で取のか) 紙台込申計時 中二 田原引 るかての入 ド海のコリダ 水十三 田原引 るかての入 ド海のコリダ 別が変で グリコ茶式會社 大風市西郊川區南部岛町五三 想時計廠行 細。切 酸 開川十三年 轰, おからせします とり (中央公共中) 有 Ī 番目 灰山 죨 吞 鼬 g0. お年玉です 切り目のス 抽 焼時計が貰へる

莫蒙累 Λ 種を合む

社会式株399(阪大・京京)

合せられるが、御殿に於かせら

仰かせ給ぐ、時には深夜にな

新聞に御目を運ぎせ給ひ、又大 | 聖寺の落畿を寄き奉り、天業恢弘 | 首都南京に観路線として天日と共

的島関関連の危上部陸セられある

に題う 私利獲得を異変変扱に版

飲を形成し、此くして我小島國

軍の続くたる機能を疑の体部に、一般としての存在基礎日と共に教理が全く施了に散地なく、正に我は一般在々 悠く、世紀 鬼化行 歴上一 ち得んことを野盟せる茶々第三國「整羅湖州國は我との一穂一心的教 ふるに方り、謹みて資産の解釈、 京歌及び黄河を返し屋支継殿第二年の新帝を迎 必ず勝ち攻むれ

必不勝ち攻むれば即ち取り、北は一時的機器と相俟つて今で世界特異

球に、 南に上海及

の極限たり

朝鮮軍司令官

「壁々ならの酸減を放てして非一般」の前駆け難し難覚なりと駆撃さる。 若し、別島の来々が三國は今日間照野に く、勢の戦い所現で豊に中本戦制・規範の来々が三國は今日間照野に く、勢の戦い所現で遺に中本戦制・ にする 5 足損害戦を呼吸し、一両野心・無量の呼鳴を加成さんとするが知一能にす

も残心他神儀提にて御殿の御窓員 意異にて御便り遊ばされ、殿下に

御一家をあげ て海の宮様

ひこせ給き、大本香の御職務は 前帯を迎へさせられ御機膜頭々

非常の秋にあたらせ給ふが、海軍一六時に御起床、

線の若戸様と前開院戸様と前

らは御所閣の御機樹等御費領や御「御所郷遊ば子との御ことである」上述を其へさせられるが、晩郷が、赴に成らせられ格志徴機能として「

程的長官段下には御六十四歳

き御身をもつて各皇族殿下の内

外に

御 俖

十二月韻差の謎を聞いてから二月の末にかけてである、頃にたると他よ何服が何服らしいうまみをもつて來るの

と云ふわけで、「河豚だけは……」と女房の蹴音も聞 たつて來ると何様、氣は《望の何様世一命を惟しまた

は下願ものでない釜山あたりから來る朝鮮ものと 雷なファンを持っているやうだ……それで近頃で とにして……最近でに京城には料萃以外に手軽に

-- 客機館の近くにある二般に

河豚食はぬ人にはいはじょくの味・…

程にあまみがい

"~~~"

O

る本場下間からプク(下間では決してブグとは避らたい) 何既料理を空板にしてゐる、。何既は馬顒々とまで云はれ で河豚を食はせてくれるやらになったが、其機どが下膝の 一次。

をはじめ一流と云はず二流所でも今では大振い

あれば命知らずの河豚派仲間だけに通用する

昭和十三年を迎へさせられた

宮、開院若宮各殿下と 給ひ陣中に御奮戰の

さるるは異

3

極みであ

動を皇國に樹てさせ

には梁ある皇軍を親しく御統監、赫

かたる 長宮殿

當ら世紀 ふ開院、

伏見陸海軍兩幕僚

【東京電話】大本營下に統師府の函覧として重費



今茂末は静穏状態を傾け、年末野

一部指統戦申上げて居る

不穏に越年

輝かしき皇太子様の御春

(建せられ)関春四月頃には魔皇大生 著句の御傷を駆げる。させられ、御年六はを算べるせられた、幼稚園に伽夢

遠この権威の無難を再避敗返ばすことになった、選ばれた遠い中から維相手が決定されて毎所に個鞅、緩下にも開発、無一新意地からは緩下御避生の暗和公平に生れた難滅の公開、新茂地からは緩下御避生の暗和公平に生れた難滅の公

民に範を重れさせ給よのである 南京御攻略の

、を配らせ給、御由にて、戦闘を こ支部機織に迎へさせられた。 られた韓軍中特朝近百場改正男 こあらせられる、御殿には常一城第一大所獨官野長、朝鮮貴族、 國人より脱資を受け、次い三午前 会製してゐる在城鐵準殿との他外 **避へ午削十】時式場に入り、旣に** 十一時から本府第一倉選室に於て 十一時二十分から本府局職長 発行される、この日南總督に始軍

の なだ ソリ

や、汽車に振られ!

鐵道局 元具年前十時半 を割けしてある、南郷を集げた同 仏祭部は第一回の職しとして新年

【妹件】書者を問にず雪ふれば今 城津に生る 田君が一時問題れて漢泉に歸った

京城府東四朝町三五ノ一三の出身 たものと見られる。同人河内若は 無事救出さる

で大阪ぎとなり、埋在したが遂に 君が未だ下山して居らなかったの

曳航中の異變

スキー倶樂部

遊武大學に人學したものである

に於て待酒を削っ塩品質の光水県

本府その他の新年式

『ご並に大河内弘助つ』この開君は

一一八日大学山為平方面に登高。

5都同志社大學神景治學生和田保 | 八日塚難ら報に一同愛話に閉

越川電話】去心二十四日以來丈 | 真城東四紀町

淡い髪を抱きつい徐望の城職スキ 日もスキー日和かなと銀盤に躍る **仏様部が此の程磁生スキーヤー**

各局所長、各誤堀傭人権代与が参

官、魏僧局各課所係長、京城府內

曳船して航海中、對応比田勝地から釜山へ向け大型圏平船二基がら釜山へ向け大型圏平船二基

近や御動館の記事等に特に切扱か

の御心つくしの御林門品を整へす

つ概の感は現すちで変に事物では **生学別の山田さんとの約別を持っ**

一句は歴史の組入たる新説時記

新春の名高祭

正月二、三、四日 民











の 記録器 / の 記録器 /







第一流品でする。

Columbia







一門 作 语 一日 出 化 化 一日 出 化 にこの 《福雅斯会 せない 6 9 保,勇* 温温 るす歌謳を春の勝戦 第二〇三號第二〇三號第二〇三號 ◆五十五回 動 な新製品/ 原原せる世紀を設 なマートな外襲と

+



まてをて器のが す。行情がほと和され りし計るし就性が

謹

賀

矿

推 大日末音樂協員

金=五一回線

と思るから、テッポーッだなんで伝われなくなるのだ。それにあいる。 と思るから、テッポーッだなんで伝わなが、たるに と多るから、テッポーッだなんで伝わなどうだが、たるに と多るから、テッポーッだなでは、トミな、応さらだが、たるに と多るから、テッポーッだなんで伝わなどうだが、たるに と多るから、テッポーッだなでは、トミな、応さらだが、たるに と多るから、テッポーッだなんで伝わなどうだが、たるに とうでは、トミカで高かであげる。まことうとき向談を認 ないだだよ」ツてな気破をあげる、まことうとき向談を認 ないだたより、アステンとはではないないないない。 定場の何限物型ははに下層の何限物型だのである。十枚 定場の何限物型ははに下層の何限物型だのである。十枚 定場の何限物型ははに下層の何限物型だのである。十枚 でもたい、今年、ファッファメリ酸ですぜ でもたい、今年、ファッフメリ酸ですぜ でもたい、今年、ファッフメリ酸ですぜ

式會扯

新皇軍式運長久 賀 不介町二一三

| リング第一回、一形五十歳時放|
「大回城は朱朝大、尹大朝外二組で
「大四城は朱朝大、尹大朝外二組で
「大四城は朱朝大、尹大朝外二組で
「大明が二組で
「大明が二組で 内地旅行中に付年始缺 京城府三坂通一二三 勢 介町二二三

路今後に決行すべき戦骸の如何にの賦じて執らざる所・則ち用兵皆 拘らず、銃後回腿軍しく相機へて

泉紀二千五百九十八征支第二年の

t:

の大程性なぐんばあるべからざる の第三段階に向つてする距離戦備 **南に支那群型に有終の美を収むべ**

得屋で次難 [巻三]

不退博のは高、金陵師高田一

新春拳闘試合

けふの天氣

心體仕候

糸 サープ・一の「日・ま

Columbia CITAMOTUA Radio-Grafonola



最高指揮官上海派遣軍 日北は満洲國から北支、中友」念ないの成果の機党漁員を期じらるもの

心情を思ふと言語、同情のなにたへない、唯いたてら今大田 新春を慶賀するのとき、

酸首都を陥れ、端珠の國民政府を 他ふに大神稜蔵の下皋國一致以て

金陵而職員一問

二路

禦侮面職員一同

金泉無盡其會社

企 泉

E N

餡

局克服の熱意に燃ゆ 北支派遣軍 川岸交三郎

が順する國民一致結束の力なりと

斯くて萬邦無比の國體の標

著々所棚の目的を質現しつよあり 選集敢なる展閲を交へ連載連勝政

最高指揮官 陸軍大將伯爵 子 內 壽



恐懼威激に基へぬところですやかに卻越年遊ばされたの

ある。次に設置の回胞的

しまして御起居御 不自由の 中に続々御に征旅幾百里御武励赫々 皇軍の第一線にせられては畏くも 金枝玉葉の 御身を以





た我等の前衛(フォー 斯くて我等兩國民は一層過くな 他の國家集團は

一國協定への使命

「ジョルナールデ・ヴィルジニオ・ガイダ

一證明されたことは御東の正當性が愈よ明確、皆み出された世界政

獨防共協定によつ

ベルリン三十一日發

する防共の強き意思を 個し、2013年の歌を貴子ると 喜ぶと共に來る べき協定は日獨併三國の有 を呼ばるを持つて日本に嫉慨に 共の挨拶を送ること外になる 先般 のロー マーたつた民歌の関手 「殿屋勘」 邦日本の國民諸古に外になる 先般 のローマーたつた民歌の関手「殿屋勘」 邦日本の國民諸古に

フォン・ノイラー

世界平和の强化切望

再び世界に開明したが|云を極めて思味なものである。斯

【ローマ州日競特電】 支那に於ける日

滿洲國々務總理大臣

ム然も永遠に若く しめる。南國の地位及びその國際 古き歴史を堅持し 上田田田

電話二四次番

介

職

Ħ

[ii]

義州警察署

濢

貞

断息軍武部長人 藤非幡

特別質 電話二一五生症以金泉叺購買組 商業 工縣酒造場 **人工**

生きてたか 1 4 36 1 金泉沿理屋組合 **企泉: 温造記會社**

本五

原

水

郵

便

局

局

Ħ

六

我やまさしくこの國つ興る 围 田

牙川公立普通學校 開席公立普通學校 開寧面職員一同 小川熊造所 貝一 税 友 會工泉稅務署 (基本) Octobro 一泉出張所 義 那廳員一同 泰刑務所 琪 友 州 迎長人 振 會 郡 高崎合名會社 各支店、出張所社員、從業以一同社員、從業以一同社員、從業以一同社員、從業以一同社員、從業以一同 本中、中国相等了 農 金 泉仓 逍 金 金 職 Ŋ. 職泉 員警 會 金 泉 I 曜

泉

处

完

癣

祭

同署

義州公立等軍小學校長 義州公立普通學 校長 選其久 工農業學校長 州 邑 日本穀產工業 式 壤船橋里 會 劜

清 Æ 會株料 社式 品 桑前 H 府商 旭 加店

運長久

水原殖林種苗灣會社 學數樣 近 藤 虎 之 助

道立義州醫院

堀

尾

亚

骸



弦にも、大國の襟度

東京オリムピツクと朝鮮

朝鮮に於ても勘食の組織強化に決 き實力ある機関を作つて、陸上競 | て頂き度い思ふそれ自身が選手並 | ▼複数物和へ 急た空りもたく闘 社合施設の充質が呼ばれる今日、 新春を迎へるに辿み、陸衛戦 於では盆々この方面に関心を持つ 國としての面目にかけても日本に 鄭

氣の動きに注意が肝要

い強化には諸是し得ざる所であつ

か、勿論相手方選手の記録に虹級 か世力を十分に整理し得さる所が

育年度指導者を受成する必要を感

成功すると否とは平和外交に改功すると否と全く執を一にし、體育運動即ち放功す運動の質目が認知たるものがあると言ふべきであらう。東京オリムピックに

か く難じて朝鮮としての心臓へを次に述べよう。

しての特度を育成する概括線精神管理態度を確立せしめればならね1、次に運動機関の強化を貼る裏がある。あらゆる健育運動を通じて大関氏と

政行したドイツも、失ひたる断民健康の移大なりしに誘いて居る事質がある。 かして吸い力の大小は軸角不拔の精神と配い如き肉盤とに 洲大戦で就をして一かも関係を越てしめることなく、克く長期抗戦を

勝つて郷し立きに泣きたいのである。又我が國古来よりの縱つべき文化と近時欲とに燃えて、目の丸の大旗のもとに泣きたいのである。あらゆる頭þ渇動に 成して見たいと念顔して居る即ち日本人としての最も勝利なる意識と関家職 ★ は平和運動である東京オリムピック大台に際して、此の概を思ふ存分

> キーコース 金剛山の新ス

降もないので地域を頼めぬ人々は | 内で合つたことがある金 井佐仲

だが知つた気がしたんだ。今、

大、あれから、年経つて佐仲太は

らて行く操作自由、指導標があ

ないから難力と時間を要する。ら ▼彩世曜 半分登山をせねばなら

植版へ 風笛りの少い谷間に

路は六花岩からドライヴウエイを 大概平地だが法起版附近の動名ス るから目標を殴ることがたい ▼白黒崎へ 内命郷が根據とし スは

▼内野在伽コース 内金階へ降る

つたのは、敵の棋兵を終して早々傷り無味に見受けられた印が 一路に似現なく大利久氏が中盤

六段 飯塚勘一郎

中野哲学の思想兼得に乗り出すこ 本府原務局では各道に命じ本年末 とになり、これがため、本府では までに青年圏の特成を収め、半島

いぶ人はどういぶお人だね 「いや伊八さん。会井の小旦那と 「鼠々に聞えるだけだが、日本と

既定から述くない八寸村の田の 的な役割を、義務として配めてる る者の鐵琢だと知らない。いつ

翼型 三木柴

水原川改修工場

関連は博徒の世界で手を延ばして ないがいるの間状に聞いただけが た。 『わしにもよく知らない。 親分 はいらうものなら歌門ものだら

巴高

商

會

洋

服

電話一四三番

二三日、經つた。 風花がばらば

「虚かの、親分は神妙に聞いてゐ

「氣が長えなあったれか呼びにや

京南タクシー

水瓜酒造組合 水

原

税務

鬼追

自動車店

卫

岩田專太郎 伸 盡作

翟

在

水原酒造綠會社

央原

自自

大石組水原出張所

ではない、しかし三、四月は積雪

この頃か最もで

日のヘイギングによく、白馬か

例である。内金剛から四橋川を で頂上からの眺望していらして

旅枕の女

奥なことをいつてゐるんだ。親分 **権闘めて、何とかで何とかと順募** Tみんな開けよ。 金井の小旦那は

溝

上

智

彦

水

原

支店

電話 二三都

羽鮮 狮子羚曾社

『ああいはねえと話に終がつかな ね、その時が來たら、とか、云つ 神崎吳服

配話 二二番

図

武

農

・思沙門コース、復井里への長捷

イションを保つてみる

だが途中思行門の乗越に三十米

製ではない。間下の客は島村金

英相平コース 選井里へ降るメ

毘盧峰より下降

発出コース スキーを繰しむに

世に知られてゐる高宗で、賦王の

『親分、日本の頃、といふお話』

花 ノ 木 五 郎 水原驛前出張所 1001 七 番 1102 番

大}

水原梅山町二ノニ七

原醫師

會

水原自動車灣會社

影

太

水

が伸びた、が佐仲太も伸びてゐ 志に関家にある。二人のひらきは| 忠大は伸びたといつても似症の 「さうなんだ。下の者が上を説

왩

業

五

原

近藤印刷

電話 | 七| 青

之 新

兵 古風 城 *

國

型

弱鮮建物辨會社 水原出張所 車

新日本 原本原本原本原本 春を迎へ

T II

。 6

ス 醤店

理

艌 田中商店 配飾二三七番

綱島表具店

配話!!!!七番

不二屋百貨店

水 原

廳

水 原

水原邑梅山町 請土 木建築 負

記話一四番

水原郡牛栗共同出荷組合 產二千 石

水原本町二丁目 図 a 商

益 **於繰棉工**場

輔 均

水 原 出 張 所朝鮮運送株式會社

邑 武武武 會會會 郎 伺製氷工場 朱原色 崎建藤同店 協山町二フ六五 祭 電話 | O三番 電話 三四番

祉

稻石三高

宅 光

信 茂 壽

耶 明

学 兄原

田 玉齒

歯 歯^科

近

石

玉澤工務所 水 原

助澄四郎

線水 濢 拾 Ξ

 \square 釜

原穀物商會原穀物商會

京

邮所

原穀物協會

京城電氣株式會社

水 原 支 店

製て大競技者に於ては歴ぐたる性実に一般的に

若鷲逐に及ばす

あるし、力哉とは まこと うっかき が縁く 励いた 体がで、此間の心のが弱く 励いた 体がで、此間の心の

その一方で、身内のものの取沙汰 再項の落もたとなられる

對しては嗷踞であることは自衛 川氏のこと、さういふびを引い

水原縣前鄉使所 荢 田

司

商

北棉 ガ川耕太郎 電話二一四番

式 會 社 業 水 水. 原 原 原

水原公丁尋常高等小學校 尽公立家政女學校界 公立 農業 學校

武實吉二幹

取締役社長

常務取締役

原土木管 京

水

電話101番

東 鐵

小林幹 三班 林 幹 三

務課長爺 **上輪課長** 橋神橫

			(可 容特度素質 三類) 	TITLITE TO THE TOTAL PROPERTY OF THE TOTAL P		块 京		() () () () () () () () () () () () () (平三十和路	
			B		h.Ke	1	مقر			P. Et	兒島高信見目徳太高楠
武	松	Ĥ	伊	佐 方	渡	野	富、	 	١	松	兒
者	本	石	森	文	邊		永	永	城	原金	島
武者 樂二二		第四 七口	明治	次 郭	彌幸	新吾	文	三現	文文八	純	高編信
	直 誠										南川
鈴	鏑	篠	新	 柳		賀	三	鈴	1,	本	見
鈴川	木	崎	田	樂		fe	輪	木	林	H	目
壽	德	哲	留太		一		邦太	文 ** 次	酒	弘弘	意德
男			太郎	達見	貧重		東東	次 郎	株式を持て上し	州 行京域安店	太太
					戊寅新年紙上						
让	伊	和	大	大	紙覧		百	मि	本	渡	一一一
本嘉	藤	田八	塚	谷仁	老师		木	原水		邊	楠
	榮	千	俊	兵			德	景	建		
郞	治	穗	雄	衛	交換 會		彌	ボテル 福	. 義	龍	業
				_							
中河	松	森	佐	青			木	分島	平	杉	人 人
原	本	安	野	木			下	周			保
重	E	敏	彦	福			ofolio ·	次		l la	眞
芦	寬	暢	蔵	司	同不	序順	榮	鄭	平	人	敏
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	全	土	酒		土	塚	H	伊伊		
本	波多江	村	井	井	宅		崎)II	藤		上
	社 千 ★代	1820	誠	與	耕	字	兼	第	景	石	主
*	* 代 藏		京	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	京	#	作	治郎		嚴	計
中河原重吉 山本正三 森田泰]]	
森森	中	幅	金金			射	水		H	齋	**************************************
Ш	原	島	<u> </u>		脇	場	附	Ŀ		藤	
秦	正	英	能	芳	金 二 五	達	成心體等	聖 欽	=		重
游 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	作	"朔	* 秀	平 —	THE BY	,夫	意思	保、文令此	耶	鄭	里 政 川 田 茂 隆
					解前					_	
H		杉	木材	大		奥		尹 	内	土	
石	冶		村寅	B	崎				H		H
宗	大 太	秀	太	H T	爲	T C	, Ľ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成 (現 内 田 田 田	工作	双版
量場場		基	郎		藏	人里	瀬	<u> </u>			
		KTERTOLOGICALISTORISTORISTORISTORISTORISTORISTORISTOR	32: 114:44 (CU144) (CU144) (CU144) (CU144)	KATAN KONTOKO NI MATANSAN MANJAN MATANSAN KATAN	INTO NO STATEMENTO DE LA COLONIA DE LA C	KANANTAN INTININA MARIANTAN MARIANTAN MARIANTAN MARIANTAN MARIANTAN MARIANTAN MARIANTAN MARIANTAN MARIANTAN MA	OPPORTED BY STATE OF THE PARTY	ALTERNATURA PER	1144(4)121171171717171717171717171717171717171	oomooduuminininininininininininininininininini	omano en emerica (a partituda (a

+

鮮満

兵站基地とし

大田旅館組合

小野新太郎

武井運動具店

德城川則城內明灘岑南 普普普普普普普 通通通通通通通通通 學學學學學學

會道 校校校校校校校校校校校

田 大 大田府春日町 松中溝加 尾野部藤 末 寫寫寫寫 吉吉 真真真真 豊 質組 韶韶舘舘

大 忠 工 清 田 南道支 Ш 醫 林 院

道

部會

昭和印刷辦會社 張局所 つ こ月水

トラツク蛛會計

同所

大

職田 員刑 務

同所

使命に邁進せよ

貸座敷組

光

蠶種製造組合

整香開

西村哲次郎









獨逸

若林茂商

便

局

大田魚菜市塩

屋組台 郡 廳 可

大 → 城水 和 H 商

所

牛南公

原利

義 組

弘合

FOR 議

大 \mathbb{H} 宮明福中吉 地田迫澤原 材材材材材 水水水木木

可

店店店店店。院院院院院院院院院

橋藤山牛竹十任橋 高井下屋田川 田 科科科科科科科科 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四

府

蔘 同業組

會師醫科蘭田大

物產株式會社

灰常

雄吉

间

田 大 員議會道 林金村 尾 昌正伊 勢 沫煥松

員一 同 **蜂社 長 尾**

城親 和

尾游店

商工會議所落 館

儒城温泉ホテル 儒城溫泉珠會社

李 相

Ħ

	在鄉軍人西湖津分會	興南警察署	東 南 館	羽田葬儀社	4 1 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	辰已自轉車商會	長野工助	「	東海 は は 中 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
西湖出脹所	水 藥 工 場 分 會 朝 室 工 場 分 會		映 満 常 設 東 南 本 町	與"府本町	小丸豐松	自興車オトペイ別風品版製並修理期程成州那製青本一	第 公用。	成南 測量 社	周 九吉羅送株 八會社	
興南支店	帝國在鄉軍人際會) 	低 綿 啓 太	藤州川久萬興南府	"	I	オ オ ラ フ ユ	成興府住吉町六一 一個 「一個 」 「一個 「一個 」 「一個 「一個 」 「一個 」 「一個 」	1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100	
會心管田油	與南魚菜市場來會社	土木建 15 167 167	常 。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	興 育	対なる意を多りを	天和町四	成機物前海閘前 成機線前海螺節	
朱氏	F4 勿乍於七以][興南山手町組合長	鬼有怂上里 九 龍 里	金・プロイオギョー	竹之內遊陽	**************************************		成興府金融具	○翻紅運送技式合社	
朝鮮咸南咸州郡興南	世洲兴舟第二月	志村勝馬	與南飲料株式會社	郊が成青興南島本町三丁目		事東際院	清田戊寅	東東河流	九山 星洋品店	
•	写 阴 告 乃 戡 C 沂 西湖 沖 間 島 里		井上酒造 支店		原 南 上 香 一			電話 九一〇番	資料東西醫院	
材式會流		藤居優夫	# 00000	野田吳服店	千代田生命興荊郡蔣府 英	與南和信連銷店與南州信連銷店	岩.	1000111111111111111111111111111111111	事務所	
			李 // // // // // // // // // //		i.	朝鲜生命保險株式食社代理店	解 南	机物学 电电子 即 所有极流级 德 與 印刷 所有极流级	表 京	
朝鮮火藥	株式會社	漢帝 田 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知 知	原重	三中井支店	或質質的 大河原仁 太郎	佐々木運送店	新田貞二	成果府大和町二三一助	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	勢鮹窒素肥料	-	竹原健一郎	電話 三六 番	の例里(毎月)田型所	成態線與南韓的	東市色文組入	男女 堂 · 書 · 店 · 成興府軍管連	龍浦 面事務所 英原	
		職 員 一 司 與 南 郵 便 局	太	新華成 若松屋旅館 興南福盛迎命事節	朝日町町内會興	四尾組	白井一行	編集 編集 本 本 本 本 本 本 本 本 本	大樓 三個 和 東	
職員一同			李 柱 模	成態南道郷、税券医育局、朝景	西湖津海產物仲買組合	與 南		**	司法者士 金斗 溶成 成數學三個學園	
咸州郡公立學校		宝田 會見由太郎	岡田新	東店 普成自轉車店 上 天 楼 里	1	が、一般に関する。	李智永		医科斯氏变变 英商會 医科斯氏	
		千七日七命與有兵务庁	布谷國三郎		展市元祉里	掌	西澤茂市郎	- 17	和 員 一 同 報 面 事 務 所	
	株式會社	東海水產業會社	金奉鶴	各種パンオーナイニンド	米田 西 店 宮崎一四六番 新鮮成南貿南天概里	井上惣太郎	9		我 原 都 信 而 音	B
政府	F	成經南近成州部西湖面西湖里	有馬		與南印刷所	入縣	高高島 重郎 郎 東南本町郵便所長	奉 仕 印 刷 所	計武	
	新興 载 首	5	尹离炳	電話十九番		####################################	武助		9. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		西湖產業曾社	村田三之助	興南造花店	西湖 津田 張 所	が 一次		成類大和可	洪原酿造場	
電話二		與南支 店	奥山忠八		金 京城煉瓦田張所	名古最製物所製品特約店 東洋湖縣資産工業品	平松 恒三郎	金 金 金 金 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	金融等 曙 星	
退田		東一銀行	(順次不同)		東語 一七番	興南營業所	咸興水利組合	サスキ屋河 店庭野府中央町三	校市政区内 按	
與南邑春日町	與有製練听		西湖津漁業者	與南藏县	興 南 牧 場	成興タクシー株式育社		ベユヤ小間物店	f 100	
	株式會社	西湖漁業組合	000000000	內湖町內會	文 化 旅 館	イマムラ寫真館			共新商會	
西松	古一年の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の		000000000000000000000000000000000000000	興南	朝田亭	興 南 受 町	咸興郵便局	大村政 金 図 汽	製造航安 笹原 商店	
無間 組出 提 货票 市 土 曜 會	妈 洋廣 岩 闩 凌	退潮漁業組合	サンオーストーブ 小川義 公グイヤストーブ 小川金物店 東 厳 小川金物店 興 南 本 町	柴町々内組合	九 熊 里	三友造花店	ï	成市是基內成市是基內	全教會社 徳 興·商 店庭商供息色内	
V V V	少	1000000000000000000000000000000000000	四中キャ		「	#	成聚大和町	順昌百货店	並貨組合	
西湖 明太肝油 組合	声	安東水產加工場	1) 1) 11	與南山手町組合	天 臂 量 学 服 占额性质量离价 网络克莱克斯 对 电对应分析 医	ドラア	株式會社	成有技术色 克 南	文	
		底角網組合	上野敬次郎	133		高橋音岩	越原克己	東 世 興	成熟原民 和事務所	AN IR
3	防	退潮明太		春日町台	期 不可可能	末 東南鮮級 頭 部 東京第字館	建 中 忠 身 政 南三附公祥安	安 安 吹 清 清 新 中 京 答 、 次 、 清 、 行	糖锅 共 與 常 處南洪原邑內	
西湖明太卵光組合一	喜 樂 館	艺术工工 電 二二	興	東マッエ	及南边湖 成南边湖		成南三湖縣便斯長池 田民助樂房	i	機 原 出 張 所 世間 田番 所 原 出 張 所	
	與南邑九龍里	疾, 成五百百百分百十八 東 南	東京直接仕立高等洋服	全 野報を搭 ・ 助	西山 客一	太田製靴店	名取前店	安島西城市 城市 城市 城市 城市 城市	長田鐵工所	

	<u> </u>	背良醚造合資會配	方無洋酒造灣會社	显 西木	職員一同	. 13	カアボ と 1 シデ ・ *	す。おにしいお臣機まで当つてて 土土の た図水・着が代々が 教もいつに たくお狐 そらで ます。	な がないつい	でする確定状めたのです。今方 "お特にせしました。これかになりました やります。 郷して やります。 郷して	林久雄
田治一	南鲜合同世氣株式會社 太田 1 京班日昭前11支周			延安於二金剛祖合	瑞阜公警 综署		1 P			ちやみまし	1
į.	ij.	高基雄	原田徹三	/		1A . 20 . 26 .		librate C	頭を下げて引つこ	してお遊び	
金融組合	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01	第1000 8000 8	斯及 山豆 田 話 北域 可能開拓快式食量	福興鹽草腓作組合	• 9	200 · 3		した。お字観が織つた時、人子・幼の質中に出て大き	えびつきり強びなさい。だから今 いっぱい カテー拗の うんとお動場をして、遊ぶ時には かわい メテー拗の	A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH
. 組	方魚雞	· 東夏	100 · 100 ·		是 寶 斌 館 第四八十二年				けてすつかりおめかしをしてやつ	激をいたとれた	+=
	**	澤 天	三 指定 に 指定	張 命 昌	職 與色	16.			ちゃん、さしるらゃし強、みしな		TO A
一部の報告	防山內事整會社	数	金 東 昊		瑞風公立普通學校	17			迎へた楽し	すっていかっている。	
孝式	防山消防組 養養安	游 山 產業組 合	李祖相嗜	延海水和斜合。	瑞興公立經外學校	12 ・	Late Ao 森		たいらつしゃいました	・今日がお日月だよ、今が…今 またいちのしゃいました。 いって・…そこで三ちゃんが ばつて、おけなに即った。 おば、このはないなっしゃいました。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
成 B 房 <u>吉</u>	局 員 一 同 行 武 蔚山無線電信 音響 景	部 山 色 栄 一	大 <u>岘產業組合</u>	[瑞只邓農會	ないたが放っているがありますが、 はれ、野辺鏡が窓をひいわが最重のヶ市が人衆ないの 六萬平方県の土地に頃に見からますが、 はれ、野辺鏡が窓をひしいわが最重のヶ市が人衆式・を ニューサウスウエルス	に の物質ない 数語 く	報は来 つとくは五が常っ赤い腹に解する。 がおて大きしめであります。 底と ウム… りかけたる大太政、それはおばあ	* # 1	e E	Minu.
電話一大八四番	岩崎和 岩 崎 貞	型 宇 古 田 義 男 一 徳 - 錦	朴 脉 翰	整 中 达 欣一郎	職員一同	思い樹脂、粧し巻いたボー学には、と、豊地産散る三単したので要い心が、あふれて心生する 可愛 せずっ 愛いなが、あふれて心生する 可愛 せずっ		ロー・ 加致しますは、海軍軍を取り乗員は、 の力とせら。 トップをきつて入 でありませら。 トップをきつて入 は、海軍軍を取り乗員は	一 木		5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
ii	負業	音 1111111	芝陽產業組合	延安已暨師會	東南国で入心では	言ちやんの意味	もません	現実の人物を対象をします。 島 かれの 大地 でした は は でん は	田州きよ子	で ブ ブ E	****
相	吳南道會都員	外職 員 一 同	金安岡幸營	死亡警务号	正入日	いたありませんか。打破く文武百官・父親、お母は、そしてお条様に勿としてさゝ入れられれその奏劉、為歌・茂歌・パンザーーイ・一般としてきゝ入れられれその奏劉、為歌・茂歌・パンザーーイ・一般語は「不用だと申しましても、」は皆さんと馬娘をいたしませり。	まじいうなりを立てて、力強いわれ、自然と胸の熱くなる。 に、海の荒野隊が現れましたでする に、海の荒野隊が現れましたでする	でした。只今から光端ある、南京人 生した。只今から光端ある、南京人 生にで 只今から光端ある。南京人 生に	53	量额	
			では近天音				目述りします		ソコけるやくにしている。		
會 +	蔚山郡農	中谷徳一	万 夏 荣	g 一 肪 旅 舘	月武軍		なだし		元朝た人で虎を背 とxinxにした	駅に様く山松地帯で書い屋々茂の「巻きんはとても元気た人で虎を背向している」と、 「の説い精顕かはじまりました」と、 「の説い精顕かはじまりました」と、 「の説い精顕かはじまりました」と、 「いましょう	
	蔚山郡		延安昌長	1!	皇		74C 1876		脱と率さんとのも	おかけて来たい。するからは、一般になって、またなどのであります。 現場の地子を扱って可からの た時度はずぐ手向まで来てるまた。 凝血の地子を扱って可からの た時度はずぐ手向まで来てるまた。 現の日で来たの。	
		霍本田敬之 □ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	延白酒造組合	水野齒科鸡形	计		近り自母車乗りの職器を発した生料の日本役がご覧のした生料の日本役がご覧の		けました。おおいさ、「一世」とした。おおいさ、「一世」という。		
	蔚山金 曜	日本航空輸送株式會計	延安製物組合	外職以一同	公署 齊 藤 淨 造		自興車に乗る	それではないさんは、同かといって類に紹介され、個共は近項50利のことも出来す。186年見せるのでした。 単共は近項	1000年です。	を成が、生前よく話してくれた現。そのためでもようと続け さんが、生前よく話してくれた現。そのたのでせら、現れは現のお尻 さんが、生前よく話してくれた現。そのたのでせら、現れは現のお尻 ・	
		蔚山邑内校長會 ""	延安聲出張所	清寫 繁人=	金		八年間もかくるさうですむはずですが、若し顧馬で遮べばりません、との連権は三ケ月です	ねらいさんはよくこの時の特闘の となると、XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	は共		
F)	詩 山 三 戦 員	理事朴 柄 守	養女 个澤 康三	皇位の井旅館	與己		超さて 分一		聞な	虎。	日曜主
	局山龍造館社	1	顶坡载行延安支店		理事 須田 豊子 大明 製金 高田 ・	首都攻略 神林久雄	パペパ行場から五百朝の深識で述がリビア・アンデスの飛行機はラボリビア・アンデスの飛行機に連ぶ	一般何をさかさまにして摂りつけ、		数他を見ても逃げ	
京		鳥 居 豊	整四村一平	松岡利男	金 三 共 釀 造場	ち かと、慰心してゐたの	世界知識				
方 林 绿 高 店	介类	高口 管 友會	消防組	延安	和 員 一 同 海州刑務所瑞興支所	がら、ほかのスパを買ってお」 翻りやんは、いつもデパートへから、ほかのスパを買ってお」 翻りやんな削ぬで買っ 確の近りを表にてするに、変しいてきたの。パパちやんを削ぬで買っ 様の近りを見ましたし、また、変響なてるの。」 「記載で受ってた」 翻りやんは、いつもデパートへから、ほかのスパを買ってお」	カドモの				
氏為官員造演會 配	非 _費		電話 商	森	白 壁 主 金光 樹 果 株 田	「お、ママのあんなパパいらない して、田螺目ではたかつたのです。 おうります。 しかし、終わやんの言葉は、決だりをします。 しかし、終わやんの言葉は、決だりをします。	の 減ら見たこともありませんが小さい昨分・慶元がら30番に現はいたことがあります(平けたと数がたことがあります)	84 4 A R			14 - 6 - 17 + 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17
央 报	本 女 杉 吳 華麗 華	游山『造組合 『調査 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	郡郡農會廳	延延白白	項 與 婚 賞 一	大きにないたは、今年 その時には、あとで、スペにせ、大きになったばかり がむのごす。 かんたてていやだから、 がいってを買って来てよ	ペーナ				いい智恵を
1					辐颠蚓 便所及	パハ変物 れることもあります。					,

mruminiminiminiminiminiminiminimi		章 前 13 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			與 田 米		平壤出張所	大同製材所	2
		整藏武內 商會	內地人貸座敷組合	中等學校長協會		大同郡農會	(概高橋礦油店) 平瀬が瀬町 平瀬が瀬町	大同林業株式會社工資本與有數學	×+=
鮮		和信平壤支店	平壤辯護士會	平 壌 事 務 所	羽鮮飲料验曾祉	輸紙平、聚魚菜市場	質 岡本直治郎	研い日電機工業機 明日電機工業機 で新一二九一番 で新一二九一番	
大日本製糖※會社		松尾六郎	平躟材木商組合	平寒土木建築協會	勝坂印刷	今 并 祐 次 郎	日本店 日本店	「田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山田山	
平壤焼酎釀造組	田 佐 会		等 東 郵 便 局 平 康 新 原	平南自動車商會平南自動車商會			全 度 浩	中国 (1987年) 日 ((可認物便服用三四)
製造株式會製造株式會	壌	平	原泉無煙炭礦*會社 原泉無煙炭礦*會社	工 西 申 合 會 平 廣吳服商組合	平 旗 光成經費通學校 光成經費通學校	大同運輸 ^株 式會社	平壤放送局平壤放送局	祭仁商業 學	清斤
平壤酒造組合	スクシー 安全車中間會 電話 社会に 電話 社会に である。	平壌府黄金町六	平 海 江東光霧會 正東光霧會	郭洒 喜 人 松	等城醫師會	平壤府強金町 葉 組 平壤府黄金町 華 組	第一	村本赤 か べ 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2番 2000年112月2日 2000年112月	城京
高等官食堂員 廳	水曜會	平壤水	等社 貸 城 券 番 機成 貸 城 券 番	東洋製絲株式會社	型 科	平壤府內金融組合 實 十 曜 會	在	壤 调 敝	(H IM ±) H
WIND THE PROPERTY OF THE PROPE		道 月 2	食 堂 員 一 同	平寒道立醫院	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			不壞刑務所	一月一年三十年
		野井 手 不 次	中壤府泉町一番珀平壤方店長 中壤府泉町一番珀 治	平壌ゴム靴同業組合平壌ゴム靴同業組合 日間組合員 金剛ゴム 工業 (本式) 会剛 ゴム 工業 (本式) 会社 工業 所同間 正	平 照 正 雄	村中正 一 平 寒料理屋組合	四月 一年 明月 一年 明月 一年 明月 一年 明月 一年 明月 一年 明月 一年 明月 一年 明月 一年 明月 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年	平壤發物商組合	